

＜現在整備されている機器＞

電子黒板または書き込み機能付きプロジェクター

＜新規導入する機器＞

班に1台のタブレットPC+アクセスポイント

| 教科 | 導入によって実現可能な学習場面 | ○新たな学び | ◇身に付く力 |
|----|---|---|---|
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 各班の実験の様子を撮影して電子黒板に動画を表示する。結果が他班と違う動画を見て、気付いたことを話し合う。 | <p>○多くの班と違う実験結果をそのままにするのではなく、違う結果が生まれた原因について追究することができる。</p> | <p>◇予想に対する検証方法や観察、実験の方法について評価・改善する力</p> |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 班のダンスを撮影し、前時の動画と比較し、気付いたことを出し合う。また、同じ曲を使ってダンスをする場合は、電子黒板を分割して同時に複数班のダンスを表示して比較してよい点を出し合う。 | <p>○2つの画面で動画を比べることで、自分や友、班の良さを明らかにし、その良さを生かしながらダンスを改善していくことができる。</p> | <p>◇自分や他者の良さを見だし、認めていく力</p> |
| 技術 | <ul style="list-style-type: none"> のこぎりびきの練習の様子を班内でお互いに撮影し、動画を見ながらまっすぐに切るためのコツについて気付いたことを話し合う。 | <p>○自分ののこぎりびきの姿を客観的に捉え、友の姿と比較することで、自己評価しながら技能を向上させることができる。</p> | <p>◇友の姿や気付きを踏まえ、自己評価し、見いだした課題を追求する力</p> |
| 技術 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のはんだづけした場所と作業の様子を撮影した後、無線LANで電子黒板に転送し、画面を見ながら「はんだの形がどうして違うのか」について考えを発表し合う。 | <p>○作業の様子とはんだの形を同時に見ることで、こて先を部品に当てている時間やはんだの量によって、はんだの形に違いがあることを見いだすことができる。</p> | <p>◇いくつかの要素を関連させながら思考する力</p> |